

2021年度 名大研究室の扉第40回法学部 懇談会質問シートの回答

No	宮木 康博 教授に聞いてみたいこと。	宮木 康博 教授ご回答
1	弁護士・検察官・裁判官のどれが良いのかはいつ、何をきっかけにして決めれば良いのか。三曹のバッジや三曹の仕事が憧れで法学部をめざしているが、特に何が学びたいとは決まっていない。それでも法学部をめざす価値があるのか。	何を自分の勉強の軸に据えるのかは、今の段階で決まっている必要はありません。講義で紹介した名古屋大学法学部のパンフレットのゼミナールの箇所を読んでみると、漠然としてではありませんが、面白そうと感じる分野が見つかると思います。法学部では、社会に出て必須の能力である、論理性とバランス感覚を修得することができます。それを身に着けながら、キャンパスライフでの様々な経験を通して、将来何を志すのかがおのずと決まっていきますから、その意味でも法学部をめざす価値は十分にあると思います。
2	検察官が念入りに調査をするにも関わらず、冤罪が起こってしまうのはどのような場合なのでしょう。	事実を認定は、判断時までに入手することができた証拠を十分に検討し、過去に検察官が主張するような事実があったのかを判断するほかありません。したがって、証拠の評価を誤れば、間違った事実認定を導いてしまうことがありますし、新たな証拠が発見されれば、それが判断の考慮事項に加われば、異なる帰結が導かれることもあります。とくに、自白については、通常、人は自分に不利なことを供述しないとの経験則がありますから、どうしても価値高い証拠と捉えられてしまいますので注意が必要です。それを防ぐために、刑事訴訟法では、慎重な取り扱いが定められていますが、それでも人が判断することになりますので、誤る場合も出てきてしまうのです。
3	いつごろから法学に興味を持ち、研究したいと思い始めましたか。	なぜ人は犯罪を思いとどまることができないのかについて、高校生の頃から漠然と考えていましたが、法学に興味をもったのは、大学に入ってからです。研究については実は大学卒業後でして、卒業後3年たってから着手しました。
4	逮捕の時点でマスコミが、実名、顔写真等を報道するのは、無罪推定の原則には反しませんか？	難しい問題ですね。ただ、無罪推定の原則との関係では、仮に実名や顔写真が報道されても、その人が犯罪を行ったものと考えて自己が誤りであることを示唆する原則であるともいえます。もちろん、そのように考えてしまうものであるということが現実ではあるわけですが、犯罪は公益性が高いものですので、報道の自由や知る権利との調整も必要になるところです。
5	研究機関と現場の捜査機関が連携するのはどのようなときですか？またそういう場合、パイプのようなもの(例:こういう事件は〇〇大学の△△教授だのような)はありますか？	捜査機関と研究機関が連携する場面の最たるものは、DNA鑑定や死因の究明などです。法学の研究者が捜査と直接連携する場面はあまりありませんが、捜査機関は、法の専門家ではありませんから、捜査活動の目的を達成しつつ、対象者の権利が不当な制約を受けないように規律する理論を提供するという役目を担っています。
6	法学部をめざす際、やっておくべきことはありますか。	他の学部でも同様ですが、これというものはありません。むしろ、高校までの学習によって、法学を考える上での基礎学力をしっかりと身に付けることが大切です。
7	私は性的マイノリティやジェンダー問題に強い関心を持っていますが、最近それらが異常に奇妙に流行していて、私はよろしくないと思うのですがいかがでしょうか。(刑事と関係なくすみません)流行.. LGBTというスローガンの乱用、氾濫、フェミニストの乱立→頭悪い人だらけ	刑事の分野にも関連する現代的課題です。これまでは、生物学的な性のみを前提にルールが構築されてきているわけですが、人がそれ自体を尊重する考え方が大切なのだと思います。シンプルに、人であることに変わりはないわけですから、自分の尊重を求めると同時に、他者を尊重することが当然ということではないでしょうか。したがって、特別視することではまったくないと思います。
8	学内のプログラムで、海外の大学への留学はありますか？具体的にはどの大学がありますか？	時期や年度によっても異なりますが、名古屋大学法学部はアジアとの連携強化を掲げていますので、ソウル国立大学校法科大学、成均館大学、精華大学、ヤンゴン大学、ラオス国立大学などがあります。
9	名大法学部はどのような学生を求めているのか。また、どのように育てたいのか。	既存の価値観に拘泥するのではなく、グローバル社会に対応できる法学・政治学の総合的な知識を修得できるよう、また、大局的見地に立って物事を総合的に判断できる能力をもつ人材を育てたいと考えていますので、その気概がある学生を求めています。
10	過失運転致死傷と危険運転致死傷の処罰の重さに、なぜそんなひらきがあるのか気になりました。どう理由でその処罰が定められているのかも気になりました。	過失と故意の違いです。過失は言い換えればミスですから、人は誰もミスをするものです。他方、故意は意図的に行うわけですから、それを思いとどまらなかったことに対して、より重い非難が妥当します。
11	法律を学んで分かったことや学んで良かったと思うことは何ですか。	社会はルールの下に動いていますから、なぜそのようなルールがあるのかを知ることで、社会のあり方が見えてきます。また、その結果、どのような仕組みで物事を動かしていけばよいのかを見定めることができるようになります。このことは、社会生活一般に妥当するものです。
12	入試の小論文の試験ではどの程度の法律の知識が必要ですか？	法律の知識を問うものではありません。物事を読み解く国語力が求められます。
13	裁判官、検察官、弁護士の中でめざす人が多いのはどれでしょうか。	圧倒的に弁護士です。ただし、私のゼミは刑事が専門となりますので、検察官も多いです。また、議論を通して、自分には双方の言い分を整理して最終的な判断をすることに魅力を感じ、裁判官を志す者も少なくありません。私のゼミでは、弁護士になる者3、検察官・裁判官になる者それぞれ1という割合です。
14	裁判と裁判の間の期間が長いのではと思うのですが、なぜですか？司法試験を受けるにあたって、大学側からは、どのような支援があるのですか？また、どのように(具体的に)法律三曹になるために勉強すればよいのかを聞いてみたいです。	裁判と裁判の間が長いことは問題です。ただ、裁判所、検察官、弁護士それぞれが、1つの事件だけを担当しているわけではありませんので、裁判期日や準備の関係でやむを得ない面もあります。ただし、裁判員裁判では、連日開廷の集中審理となっています。
15	名古屋大学では司法試験を受ける方はどれくらいいますか？	1学年150人程度ですが、20名～30名程度です。
16	法学を学ぶ上で大切なこと。	法的問題について、誰かが解決してくれる過程を知るというのではなく、自らが解決するという姿勢をもつことだと思います。

17	法学について中学生におすすめの本がありましたら、ご教授お願いします。	最近ですと、小坂井敏晶『人が人を裁くということ』ですね。イチケイノカラスという漫画もおすすめです。
----	------------------------------------	---

No	大場 優志さん(総合法政専攻・政治学)に聞いてみたいこと。	大場 優志さんご回答
18	法学部に行きたいことは決まっているが、どの大学をめざしたらいいのかわからない場合、どうすれば良いのか教えてください。	所謂旧帝国大学はどれも優れた教育が用意されていますから、それらは候補に含めると良いと思います。あまり現時点での偏差値にこだわらず、いくつか候補を挙げると良いと思います(旧帝、有力地方国立、地方国立というように、少なくとも3つ程度候補を用意しておくが良いでしょう)。そのうえで、各大学の法学部のパンフレットを読んで、先生や学生のコメント、開講授業などを見て、面白そうなところを選ぶと良いです(インターネットでも見られると思いますし、紙で取り寄せることもできます)。さらに、「〇〇大学 法学部 シラバス」などと検索すると、実際に開講されている授業の情報が出てくるので、関心のある授業があるか探してみるのも良いでしょう。
19	大学院では、外国人との意見の交流会等がありますか。	海外からの留学生がとても多いです。日本人学生よりも留学生の方が多くもあります。通常のゼミ(授業)でも意見交換する機会はあります。また、海外と関連したイベントや研究会もあります。例えば、アジア法交流会という、日本人学生と留学生が互いの研究を報告し合う場もあります。
20	今までで経済的な面や勉強・研究の面で苦労したことはありますか。	経済的な面では、母子家庭ということもあり、学部生の頃から授業料免除を受けていました。勉強・研究の面では、いい成績を取り続けるのが大変でしたが、そこまで苦労はなかったです。メンタル面で厳しくなったことは何度かあります。
21	弱者(マイノリティ)への眼差しがあたりかであると非常に感じました。どのようなところがそうさせているとご自身では思われますか？	もともと小中学生の頃に、障がいのある生徒や性的少数者の生徒、あるいは虐めに遭っていた生徒と仲良くしていたということがあると思います。あと、学部生の頃に障がい者支援の部門で勤務していた経験があり、それも影響しているかと思います。
22	政治学を学んで変わったことは何ですか。	物事を「力関係」で捉えることが得意になった気がします。国や地方自治体の制度はもちろんですが、学校でのルール変更や社会でのルールについても、「誰が」「どうして」そういうルールを作ったのかということがわかるようになったと思います。「このルールはもうすぐ変わるかも」「あのルールは当分はそのままだろうな」といったことも推測できるようになりました。
23	国家公務員をめざす場合、院に進んで研究などをした方が有利ですか？	就職後の給料や待遇面では、あまり変わらないと思います。院卒ということで若干給料は上がりますが、院の間に収入がなく学費を払うので、あまり「お得」ではないと思います。ただ、試験に臨みやすいと思います。法・政治学をより深く学べます。また、学会・研究会に参加しなければ時間の余裕もあるので、試験対策をしやすいと思います(研究者志望の院生にとっては学会は大事ですが、公務員をめざす場合には不参加でも大丈夫なので)。
24	私は在日中国人ですが、親から政治学や国際関係学は立場上不利だし、就職の幅はせまくなるし、答えが見つからずつらくなるといわれてしまっていますが、あなたの意見を聞かせてください。	正直に申し上げますと、確かに政治学では就職に不利になりやすいと思います。ただ、他の分野と同じく、論理的に考える力や意見を言う力や文章を理解し書く力が身につくのは確かだと思います。また、特にその分野に関心があつて熱心に勉強したという場合なら、関心のない他の分野を学ぶよりも自分の力を伸ばして、就職にも役立つかもしれません。「政治学のこの分野に特に興味があつて熱心に勉強・研究した」というのは強みにできると思います。あと、実際に名大大学院で政治学を研究している人の半分程度が中国人留学生ですし、中国でも民主主義研究は行われているという話は聞いたことはあります。
25	日本では総理を決めるとき、私たちは選挙できませんが、そのような代表の決定の仕方をどう思いますか。そのような決定の仕方には何か理由があるのでしょうか？	長所も短所もあると思います。アメリカのように国会議員と大統領を別々に選ぶ場合(二元代表制)と比較すると、以下の点を指摘できると思います。長所……意見が違う国会議員と大統領が選ばれて対立することがないので、立法・行政がストップしにくい。短所……立法(国会)と行政(内閣)が分離していないので、相互の抑制がなく、強権的になる恐れがある。
26	受験学年まででやっておくとよかったと思うことってありますか。	読書をたくさんしておいた方が良かったと思います。大学に入学してから、周りとの知識レベルの差を痛感しました。新書などを読んで、現代には何が起きているのかを知っておくと良いです。新聞も読んでおくの良いです。大学では、レポートを書くにしてもゼミの準備にしても、とにかく本を読むので、読書に慣れておくのが良いです。また、もっと同級生と遊んだり話したりした方が良かったと思っています。
27	ゼミでは特にどんな内容を取り扱うのでしょうか？	ゼミによって様々です。学部の際は、政治制度に関する研究書を読むゼミ、各々の研究発表をするゼミ、移民・難民や多文化間の対立に関する政策を学ぶゼミなどに所属していました(すべて日本語です)。院では、政治学の理論に関する研究書を読むゼミ、政治制度に関する研究書を読むゼミ、思想・現代の情勢に関する研究書を読むゼミに所属しています(すべて英語の本です)。

28	高校通学時、普段どのくらい勉強していましたか。部活は何かなさっていましたか。	受験期より前は、宿題と翌日の予習しかしていませんでした。受験期は、授業後そのまま19時くらいまで学校に残って勉強していました。休日は学校か市の図書館で8時間くらい勉強していたと思います。塾には特に行っていませんでした(模試だけ受けたりはしました。英会話教室には行っていません)。部活は山岳部でした。
29	政治学を学んでよかったと思うことは何か。	ニュースで聞くような政策について理解が深まり、「こういう理由でそうなったんだろうな」というのもわかるようになり、「自分の意見」も明確になりました。政策以外でも、例えばマナーとか道徳に関しても、「他の人がどうしてそう考えるのか」を考えることができるようになったと思います。
30	卒業後の計画がありましたら教えてください。	修士卒業後は、お金の面での不安をなくしつつ、博士課程で一人前の研究者になりたいと考えています。学会誌に論文を3本以上載せて、3年以内に博士論文を書くことを目標としています。そして、博士卒業後2、3年以内に任期なしで常勤の大学教員として就職できたら幸いです。

No	柴田 正義さん(総合法政専攻・ロシア法)に聞いてみたいこと	柴田 正義さんご回答
31	留学はした方が良いのか。した後、どのように意識が変わったのか。三書を仕事にしたいと今は考えているが、なんとなくだけで、将来ずっと勉強を続けたいかはまだ意志があまりないが、それでも法学部に入る価値はあるのか。	留学は、環境が許せばした方が良いと思います。研究目的でなくても、自分が育った環境と異なる環境に身を投じることはかけがえのない経験となります。留学後は、日本の住みやすさを実感しました。また人前で臆せず話せるようになったと思います。法学部に入る最大のメリットは、法的・論理的な思考を身につけることにあります。これは法曹のみならず社会の様々な仕事・場面で役に立つので、それだけでも法学部を選ぶ価値はあると思います。
32	読書が重要だとおっしゃっていましたが、法学を学ぶ上で何かおすすめの本はありますか。	古い本ですが、川島武宜『日本人の法意識』(岩波書店、1967年)がおすすめです。
33	長時間お忙しい生活をされてきていますが、今までで一番大変だった時期、辛かった時期はいつのどんな時期ですか？	修士2年の時です。アルバイトで生活費を賄いながら修士論文を執筆していた時が、心身共に最も疲弊していました。
34	留学する人はどれくらいいますか(学部・修士・博士でそれぞれ)	僕の周囲限定ですが、学部時代は友人の約半数が短期か長期いずれかの留学を経験していました。修士・博士課程で留学していた人は身近にはいません。
35	“インプット”と“アウトプット”の割合はどれくらいですか？	8:2~9:1です。アウトプットの機会は限られているので、できる限り情報を整理・精査して発表するようにしています。
36	判例の研究は何をやるのか知りたい。	複数の裁判所の判決を読み、共通する法理を導く、論理が矛盾するように見える点を検討するなど、様々です。
37	今後も大学の先生で生活していくのですか。	そのつもりです。大学教員のポストは限られており競争は熾烈ですが、なんとか勝ち抜いていきたいと思っています。
38	法学部は他の文系学部と比べると、資格(弁護士)や院等があるので、大変と聞きましたが、法学部に入るメリットなどをお聞かせください。	法的・論理的な思考を身につけることができるのが最大のメリットだと思います。身の回りには、法的な紛争だけでなく、些細な争い事や改善・改良すべきことで溢れています。そうした事柄に対してより説得力のある答えを導く能力を養うことができるのが法学部です。
39	名大法学部に入るためにやっておくとよかったというものはありますか。	やっておくべきことについてお答えします。小論文が最も差が付く科目だと思いますので、記述法(起承転結や三段論法)や、法と政治に関する基本的な知識を身につけておくとうよいです。
40	自分は読書があまり好きではないのですが、読む本の内容は、小説とかなのか、それとも難しい論文だったりを読むのでしょうか？	まずは読みたいもの(興味のある内容のもの)を読む、でいいと思います。文字を目で追い、脳で情報を整理して思考する(ここが漫画を読むのと違う点です)ことに慣れてから、様々な分野・難易度の本や論文にチャレンジすると良いかと思います。
41	・大学を受験するうえで、数学が苦手なことがネックになっています。それでも大丈夫ですか？(同じ理由で、文・理選択を迷っています。) ・大学には「必修科目がない」と聞いたのですが、入学後、どのように学習内容を決め、単位を取るのですか？テストもあるのですか？また、家庭教師などのバイトとの両立はできるものですか？	・あまり生産的な回答ができませんが、苦手だと割り切って他の科目でカバーするか、食いついて平均の水準を守り切るかの二択だと思います。個人的には、後者(得意なものをより伸ばすより、苦手なものを平均まで伸ばす)をおすすめします。 ・大学にはかなりの量の専門科目があります。その中から自分が興味のある科目を選択し、単位の取得をめざします。科目によりテストを課すもの、レポートを課すものも様々ですが、法学科目は基本的にテストで成績を決めます。バイトとの両立は、自分次第です。自分の性格を見極めて時間配分を決めるとよいかと思います。中には、バイトをしている方がメリハリがついて勉強に集中できるという人もいます。
42	高校通学時、普段どのくらい勉強していましたか。部活は何かなさっていましたか。	勉強は気が向いたときにしていました。数学が好きでしたので、パズル感覚で取り組むことが多かったです。
43	柴田さんを動かしているモチベーションはありますか？	家族の存在と、知的好奇心です。

44	「信教の自由」は存在しますか。例えば、特定の宗教を信じている家に生まれた人とか。	信教の自由は、特に宗教に関心がない・宗教を理由とする息苦しさを感じていない人々にとっては、なかなか目に付かないものです。一方、特定の宗教を信仰している人や、宗教を理由に精神的な圧迫感を感じている人々にとっては、保障されるべき最も重要な自由です。その意味で、内に関わるものである以上目に付きにくいですが、社会の至る所に確実に存在していると思います。
45	大学受験までにやっておくべきことは何か。	高校生活を楽しむこと。これに尽きます。文系学部をめざすのであれば、日本史・世界史はしっかり勉強しておく、大学での学習がより充実します。
46	ロシア留学を選ばれた理由。言語は苦勞しませんでしたか。	すでにロシア法の研究を開始していたので、ロシア一択でした。言語は学部生時代から地道にロシア語を勉強しており、またロシア語を話す留学生とよく交流していたため、苦勞しませんでした。